

様式 2

教科	種目	発行者
国語	国語	2 東京書籍

調査項目	意見書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「国語の学習の進め方」が領域ごとに整理されている。「読むこと」では、単元の初めに「言葉の力」「思い出そう」「学びの見通し」が1ページで示されており、系統性をとらえたり見通しをもったりする配慮がされている。単元の最後には、ふり返りの視点が示され、学びの自覚を促す配慮がされている。 ・語彙指導では、「言葉相談室」が位置付いており、具体的な活用場面を提示しながら、語彙を適切に使うための配慮がされている。また、既習漢字を学習するコーナーでは、漢字の活用方法の理解を確かめる練習が十分に位置付けられている。 ・「書くこと」の学習では、単元の初めに学習の流れを示した上で、学習活動の流れに沿って、書き方やモデルが具体的に示されている。また、単元末には「言葉の力」が示され、次の学習に生かすためのポイントがまとめられている。 ・「読むこと」の学習では、身に付けたい力に即した様々な種類の言語活動がバランスよく位置付けられている。また、伝え合う活動が多く設定されており、自分の考えを形成できるよう十分に配慮されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町、地域、社会教育など、発達段階に応じてテーマが設定されている。これらについて各領域の学習を通して学ぶことができるよう、十分に配慮されている。 ・二次元コードが豊富で、話すことの内容に関する動画やモデルを示すなど、学習のイメージをもたせる手立てとなっている。また、漢字の練習問題などが掲載されており、家庭学習での活用もできるよう十分に配慮されている。 ・多文化共生社会やユニバーサルデザインに関わる内容は、2年生以外の各学年及び付録に配置されている。様々な視点で多文化共生の理解を深められるよう、各領域に配置されている。学年の発達段階に応じて、視野が広がっていくようなテーマが設定されている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生までは上下巻の分冊で構成されている。5年生及び6年生は1冊にまとめられており、重量はそれぞれ500g程度である。 ・文節ごとの分ち書きを2年生下まで、文節単位の改行を3年生上のP25まで施されており、3年生への接続に十分に配慮されている。 ・「言葉の力」「コトハのポイント」などが、視覚的にわかりやすいマークとして位置付いている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びを具現するために、単元の冒頭に身に付けるべき資質、能力や、そのための言語活動と学びの見通しが明確に示されており、児童が言語活動を通して学びを深めていくことができるように配慮されている。さらに、ICTを活用したコンテンツが十分に配置され、学習に意欲をもたせ、学習の理解をより深めるための手立てとなるように工夫されている。

様式 2

教科
国語

種目
国語

発行者
17 教育出版

調査項目	意見書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <p>・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生以上では、「話すこと・聞くこと」と「書くこと」の関連した指導を図るような配列となっている。また、「読むこと」と「書くこと」の関連を図る単元の配列や複合単元も見られる。 ・「読むこと」単元では、単元末の手引きにおいて「たしかめよう（構造と内容の把握）」「くわしくよもう（精査・解釈）」「まとめよう（考えの形成）」「つたえあおう（共有）」と指導要領に沿った学習過程を示し見通しをもたせている。また、上段の課題に対して下段にはそれに関わる具体が示され、学びやすい配慮が十分にされている。 ・「読むこと」の単元末には、「言葉」「言葉をふやそう」が設けられ、文章中の言葉や文を引用しながら、言葉の使い方を広げたり語彙を増やしたりできるような適切な課題が示されている。また、巻末には、「言葉道具箱」「言葉の木」「学ぶときに使う言葉」など、補助的指導資料や自主学習等に活用できる付録などが配置され、語彙の習得や活用によく配慮されている。 ・音読劇、日記を書くなど多様な言語活動が設定されている。単元の学習の終末に「つたえあおう」という共有の学習活動が位置付けられ、対話的な学びを十分に促している。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生、6年生では、「話すこと・聞くこと」と「書くこと」単元を関連させ、意図的に共通した地域のテーマを扱うことで、「話すこと・聞くこと」の学習を「書くこと」に活かすとともに、児童の意識が続いて学習できるように配慮されている。 ・二次元コードには、どんな内容か示すマークがついている。補助資料や動画など、学習の参考や手助けとなるように設定されている。 ・3年生、4年生では、ユニバーサルデザインや手話が扱われており、バリアフリー社会に興味をもち共生の意識を育むよう配慮されている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年が分冊で構成されており、運搬に便利である。軽量化とともに、新しい教科書と出会ったときの期待感をもたせる機会を増やしている。 ・1年生は、単語や文節途中での改行がないよう配慮されている。また、分かち書きについては、2年生の上巻まで施されている。 ・学習した漢字や語句について、つながりのあるページが示されており、調べやすくなっている。 ・巻頭の「〇年生で学ぶこと」の中で、SDGsのロゴマークが関わりのある単元についており、内容の関連を示している。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に取り組めるように、学習の手引きにおいて学習過程を示し、単元の学習の見通しがもてるように配慮されている。また、児童の言語能力を高めるために、単元末での言葉の学習ページや巻末の付録には、語彙の獲得や補充・発展的な学習に活用できるような工夫が見られる。さらに、全学年の教科書が分冊となっており、高学年の児童にとっても扱いやすく、新しい教科書と出会う機会とする配慮がされている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
国 語	国 語	3 8 光村図書

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) にかかわること</p> <p>・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「国語の学びを見わたそう」「どうやって学んでいくのかな」、単元の「学習」ページの最初に「問いをもとう」が配置されており、見通しをもって学ぶことができるよう十分に配慮されている。 ・単元の「学習」ページでは、上段に学習内容が示され、下段に学びを深める手立てが適切に位置付いている。また、単元の最後に、三つの観点で学習を振り返ることができるようにするなど、主体的な学びができるよう十分に配慮されている。 ・語彙力を付けるために、文章を書く際の表現を広げる「言葉の宝箱」や、自分の考えを話す際に伝わりやすい表現について紹介している「つたえあうための言葉」、文章を読む際に言葉の意味を確かめるために活用する「学習に用いる言葉」など、領域に応じた語彙に関する内容が、巻末に収録されている。 ・2年生以上の学年では、「読むこと」「書くこと」の2領域の複合単元が位置付けられ、それぞれの領域の力が身に付くように構成が十分に工夫されている。 ・書くことの単元では、学習の流れに応じて具体的な例が配置され、スモールステップで学習に取り組めるよう十分に配慮されている。 ・読むことの単元では、一人ひとりの児童の興味に沿って、学びが進められるよう、選択課題を設けたり、考えるための観点を複数示したりして、個別最適な学びを促す手立てが十分に示されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コード(QRコード)があり、「話すこと・聞くこと」では問いをもつための動画、「書くこと」では文章を書くための資料など、領域ごとの特質に応じたデジタル資料を十分に収録している。 ・4年生以上では「思いやりのデザイン」「みんなが使いやすいデザイン」「ユニバーサルデザイン×天文教育」といったバリアフリー社会にかかわる教材、「言葉の意味が分かること」「ぼくのブックウーマン」といった多文化共生社会に向けて考える教材が十分に配置されている。また、6年生「みんなで楽しく過ごすために」のような、多様な個性や考え方があったり、よりよい伝え方について考えたりする教材も位置付いている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1～4年生までは上下巻の分冊で構成されており、5、6年生からは1冊にまとめられている。6年生の重量は526g。 ・読みやすさと、書き文字に近い字形を意識させることに特化した独自の書体を用いている。また、文節ごとの分かち書き、文節単位の改行は2年生上のP89まであり、3年生への接続に適切に配慮されている。 ・情報と情報の境界を明確に区別できるよう、間を空けたり、線で囲んだりして記載してある。また、「たいせつ」など重要なポイントは、目に付きやすい色ではっきりと囲み、他の情報と区別できるように十分に配慮されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どの領域でも、児童が「問い」をもって学ぶことができるようにするために、単元の「学習」ページ冒頭に「問いをもとう」を位置付け、主体的な学びが実現するように工夫している。また、一人ひとりの児童の興味に沿って、学びが進められるよう、選択課題や考えるための観点を複数示し、個別最適な学びを促す手立てが十分に示されている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
国 語	書 写	2 東京書籍

調 査 項 目	意 見
1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるよ うになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学 ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年生でいろはうた、3年生で俳句、4年生で百人一首、5年生で枕草子、6年生で漢文と、書いて味わうことで古典教材に触れる内容を十分設けている。 ・ 1年生では、平仮名の点画の始筆から送筆、終筆までを確実に書くことができるよう、イラストや印で示している。また文字の形を形成する過程を意識することができるように、運筆の練習が多く配置されているなどよく配慮されている。 ・ 毛筆が始まる3年生では、書写の指導内容が系統的に構成されており、筆使いの導入では、線を書くことから始めて筆圧や穂先の向きへと、習熟の過程を踏まえた配慮がよくなされている。 ・ 4年生の初めで、3年生で学習した筆圧、点画の種類、書き方などの確認がなされている。 ・ 書写の1単位時間の学び方が明記されている。「みつけよう」「たしかめよう」「生かそう」「ふり返ろう」などの小見出しとともに、番号がふられており、主体的に学習できる配慮がなされている。
2 岐阜県教育振 興基本計画(平成 31年3月策定)に 示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動画はコンテンツが豊富で、筆先の向きを二色の墨汁で示したり、シミュレーションで字形を変えて比較することができたり字幕があったりと理解の一助となる動画が十分用意されている。またボタン操作など、左利きのための配慮も十分なされている。 ・ 実生活等へ結び付ける活動は『生活に広げよう』『学びを生かそう』と題して、「連絡帳の書き方」「はがき・手紙の書き方」「リーフレット」「ポスター」等を取り上げ、学年の発達段階によく配慮している。理科や社会科のノート作り、表やグラフの書き方も示されている。 ・ 3年生以上の巻末の書き初めの手本には、小筆の持ち方・使い方が掲載されている。 ・ 水書用紙は薄灰色で1、2年生に添付されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左利きの持ち方・構え方を右利きと同様に示して児童が手を重ねて確認できるよう、写真を大きく使用している。また左利きの鉛筆の持ち方や毛筆用具の置き方の掲載、書き込み欄を教材文字の下や左右両側に配置する等、利き手への対応がよく配慮されている。 ・ 「書写のかぎ」のマークで、全学年を通した観点でポイントを示し、巻末には当該学年までの「書写のかぎ」をまとめた欄を設け、学習内容を適切に確かめることができる。 ・ 当該学年と一つ下の学年で学習した漢字の一覧表は読み方が示されており、国語の学習にも活かされるようよく配慮されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年に「書写のかぎ」が示され、文字を正しく書くためのポイントを、児童が教科書や動画教材で視覚的に理解して課題に取り組むことができるようよく配慮されている。また、1年生では、文字の形を形成する過程を意識することができるように配慮され、毛筆が始まる3年生では、筆圧や穂先の向きなどの指導事項が順を追って示されている。4年生以上の学年では、まず初めに点画の確認を同じ分量で扱い、点画に対する意識の向上にもよく配慮されている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
国 語	書 写	1 7 教育出版

調 査 項 目	意 見
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるよ うになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学 ぶか」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年の巻頭ページに「書写」の学習への動機付けを図る内容が掲載されている。毛筆の学習が始まる3年生では、毛筆を学習する意義、4年生では毛筆のよさ等、書写学習の意図が記されている。日常生活とのつながりを意識させており、主体的に学べるようによく配慮されている。 ・4年生『ぼうさいかるたを作る』、5年生『世界の「こんにちは」』、6年生『世界の「書く」』など、現代的な課題を取り上げた教材が掲載されている。 ・4年生の初めでは、3年生で学習した穂先の向き、筆圧、点画の種類などの確認がなされた後、まとめの練習を位置付けている。3年生で学んだことを定着できるように十分に配慮されている。 ・学習のめあてを確かめた後、始めに試し書きをし、身に付けたい知識及び技能について練習をする。次に、まとめ書きをして試し書きと比べ、児童が互いによさや課題を伝え合う。さらに、身に付けた知識及び技能を生かしてほかの文字も書くという構成となっており、主体的・対話的で深い学びの実現ができるように、よく配慮されている。
<p>2 岐阜県教育振 興基本計画(平成 31年3月策定)に 示された内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆では初めに音声でポイントを説明し、書き順や字形が確認できる動画となっている。 ・実生活等へ結びつける活動は『レッツ・トライ』と題して、「はがき・手紙」「横書きノート」「縦書きノート」「発表メモ」「かるた」「原稿用紙の使い方」「ポスター」「話し合いメモ」と各学年の発達段階に合わせて、多様に設定されるなど十分に配慮されている。 ・水書用紙は薄緑色で1・2年生に添付されている。
<p>3 印刷・製本等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・裏表紙には、全学年に「鉛筆の持ち方」の写真が掲載され、自ら持ち方を確認することができる。 ・毛筆では、右のページで文字を見て半紙に対する文字の位置をイメージし、左のページでポイントが確認できるように十分に配慮されている。 ・「考えよう」「ここが大切」「生かそう」の3つのマークで学習過程に沿ったポイントを示している。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的・対話的に学習を進めるための構成となっている。さらに、現代的な課題が設けられたり、実生活と結び付ける活動が多様に設定されたりするなど、日常の書字場面に生かすことへの配慮が十分になされている。 ・他教科や日常生活と結びつく事例が多数紹介されている。書写の学習と他教科の学習や行事とリンクしやすい配列になっている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
国 語	書 写	3 8 光村図書

調 査 項 目	意 見
1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるよ うになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学 ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・「防災」「SDGs」「アイヌ民族」「東日本大震災」「外国人モデルの採用」「ジェンダー平等」など、現代的な課題を十分に取り上げている ・書写活動が始まる1年生と毛筆学習が始まる3年生に「スタートブック」を綴じ込み、書写の基本を丁寧に指導する工夫が十分になされている。 ・全学年に「ことば」のコーナーを位置付け、日常の言葉、物語、俳句、ことわざ、竹取物語などを書いて味わうことで、文字への興味を高めている。 ・毛筆の導入である3年生の教科書では、書写道具の準備・姿勢・片付け等の基本が丁寧に記載されており、動画を見て視覚的に確かめることができる。 ・ねらいを達成するために大切なことを、文字をなぞったり比較したりして見付け、次に身に付けたい知識及び技能について「たいせつ」に書かれたポイントを意識して練習し、最後に学んだことを生かす工夫もされている。また、学びを振り返る欄も観点別に位置付けられ、主体的・対話的に学習のポイントが振り返られるよう、十分な配慮がなされている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の準備や学習姿勢、文字の書き方について、音声だけでなく視覚的に理解を助ける字幕や矢印などが付け加えられ、適切に説明された動画が閲覧できる。横から見た運筆も確認できる。 ・「書写広げたい」コーナーでは、「手紙の書き方」「リーフレット」「カード」「文字の歴史」など、「国語」「生活」「社会」などの他教科や実生活に結び付ける活動が十分に取り上げられている。 ・水書用紙は灰色で1・2年生に添付されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・大切なことはひと目で分かるよう大きく掲載され、その他の事例は小さく書くなど、情報の軽重が分かるようによく配慮されている。 ・平仮名の手本が1年生の裏表紙にも掲載されており、すぐに手本を見て字の形を確かめることができる。 ・1年生と3年生でそれぞれ「スタートブック」、4年生で「SDGsブック」、6年生で「書写ブック」が綴じ込まれ、書写の基本や発展的な内容が系統的に理解できるよう十分に配慮されている。 ・UDフォントで文字も濃く、温かみのある色調が見やすい。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階に応じ、現代的課題、他教科や実生活などに結び付く内容・構成となるよう十分に配慮されている。さらに、文字への興味関心を高めるために、全学年に「ことば」が位置付けられ、言葉の美しさに触れながら書く技能を高める支援となるようよく工夫されている。学習目標に即して知識・技能の定着や自己の成長を確認できるよう、自己評価欄があることで主体的な学習に向けた工夫がなされている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
社 会	社 会	2 東京書籍

調 査 項 目	意 見
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各单元ごとに「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階が分かりやすく示されており、児童が学びを自覚しながら問題解決的な学習をより効果的に進めることができる。また、各ページに見方・考え方を働かせる「問い」があり、深い学びにつながるようによく工夫されている。 ・各单元の学習内容に他教科との学びのリンクが示されており、教科横断的な学びを意識して学習が進められるように工夫されている。また、巻頭には学年間の接続を示すページが位置付いており、学年間の学習の接続が円滑になるように十分配慮されている。 ・各单元の「いかす」の学習活動では、社会への関わり方を「選択・判断」する学習において、児童同士の対話的な学習活動が掲載されており、社会に参画したり、提案したりする意識が育まれるようによく工夫されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)に示された内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海津市や御嶽山、木曾三川の治水など、岐阜県の教材が豊富に扱われており、児童がふるさとに愛着や誇りをもって学習を進めることができるように十分に配慮されている。 ・単元の学習に沿って二次元コードが掲載され、授業と併用して一人一台端末による学習が可能である。また、単元導入時には、単元の学習に関わる動画が多く収録されており、児童が興味・関心をもち学習が進められるようによく工夫されている。 ・今日的な課題について考える単元の終末には、自分ごととして社会について考えられるように多種多様な学習方法が例示されており、個別最適な学びにつながるようによく工夫されている。
<p>3 印刷・製本等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の内容を必要最小限にすることで、総ページ数は削減されている。また、高学年では上巻、下巻と分けることで、児童の身体的負担とならないように十分に配慮されている。 ・全体的に落ち着いた色合いで、内容もよく精査されており、すっきりとしていて見やすい。ユニバーサルデザインフォントを多く使うことで全ての児童にとって、読みやすくなるようによく配慮されている。 ・児童にとって親しみのあるキャラクターが採用されているなど、児童にとって学習への抵抗感を減らしている。巻末には該当学年での学びを振り返ることができるコーナーがあり、次学年につながるようによく工夫されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びにつながる学習が重視され、社会的な見方・考え方を働かせて問題解決的な学習を進めていくことで、社会参画にかかわる資質・能力を育成できるよう、よく工夫されている。 ・県内の事例や社会参画にかかわる学習が豊富に取り上げられるなど、社会に興味・関心をもち、主体的に学習に臨むことができるようによく工夫されており、岐阜地区の児童の実態によく合った内容となっている。

様式 2

教科
社会

種目
社会

発行者
17 教育出版

調査項目	意見
1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるよ うになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学 ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元がつかむ→調べる→まとめる→つなげるという流れの構成となっており、問題解決学習の過程が身に付くようになっている。また、各ページの末に「次につなげよう」を位置付け、学習ごとのつながりを意識して学べるように工夫されている。 ・巻頭には、前学年での学んだことやできるようになったこと、他教科との関わりについてのまとめが掲載されており、系統性を意識して進めることができるようよく配慮されている。 ・単元終末の「まとめる」「つなげる」の場面において仲間と話し合いながら表現する学習方法や、学んだことを「関係図」「ダイヤモンド・ランキング」に示すなどの思考ツール等が例示されるなど、深い学びにつながるよう工夫されている。
2 岐阜県教育振 興基本計画(平成 31年3月策定)に 示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・白川郷が複数学年にわたって紹介されていたり、6年生では杉原千畝のエピソードを掲載されていたり、児童のふるさとへの興味・関心が高まるように配慮されている。 ・6種類に分類された二次元コードを読み込むことで、豊富なコンテンツを取り出すことが可能である。また、巻頭には ICT 機器の使い方や情報モラルについての提示もあり、児童がより主体的に学ぶことができるよう工夫されている。 ・社会への関わり方の選択・判断の授業の内容や発展的な内容を詳しく提示してあり、児童の実態や地域の特性に合わせて教材を柔軟に選択して学習できるように工夫されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を各学年1冊にまとめてあるが、丈夫で軽量かつ写真の色彩がより鮮やかに表現される用紙を用いており、年間通して使用できるように配慮されている。 ・6年生の歴史学習の資料の画像がカラー化されるなど、当時の様子を身近に捉えられるようによく工夫されている。色鮮やかな画像資料が、児童の社会科への興味・関心と学習意欲を高める。 ・巻末には、学年に応じて社会科の学びの手引きや書き込み式の振り返りページが掲載されており、児童が自ら社会的な見方や学び方を働かせた学びができるように、よく便宜が図られている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習の流れが明確で、児童自身が次時へのつながりや見通しをもって主体的に学ぶことができるよう配慮されている。学年相互間の関連性も重視され、社会的な見方・考え方が育成できるよう配慮されている。 ・児童の興味・関心が高まるように資料が工夫して掲載されており、問題解決的な学習を進める中で社会科の資質・能力が身に付くよう工夫がされており、岐阜地区の児童の実態に合った内容となっている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
社 会	社 会	116 日本文教出版

調 査 項 目	意 見
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元において、複数の学習問題を設定し、解決する学習過程を仕組むなど、探究的な学習を生み出すような構成となっていることで、資質・能力の育成が図られるようによく工夫されている。 ・巻末で、その学年で身に付けた資質・能力について振り返ったり、次学年や中学校での学習内容を示したりしていることで、児童が系統的に学ぶことができるように配慮されている。 ・社会への関わり方の選択・判断の授業では、「深め合う」活動として、協働的な学びが例示されるなど、対話的な学びを通して、学んだことを日常の生活と関わらせて考えられるようによく工夫されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）に示された内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県内（各務原市の航空産業、海津市の低地のくらし、下呂市の観光業など）の資料が複数掲載されており、ふるさとに愛着と誇りをもつことができるように配慮されている。 ・二次元コードが豊富に用意されており、それらを読み取ることで、ワークシート、動画、画像などのコンテンツにアクセスすることができる。それによって、児童が興味をもった部分について自主的により詳しく調べられるようによく工夫されている。 ・学び方・調べ方コーナーには、資料の読み取り方やノートの書き方、話し合いの仕方などが例示されており、児童が個々の学びの状況に合わせて活用できるように工夫されている。
<p>3 印刷・製本等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本文用紙は十分な強度を有する軽量化した再生紙が使用されており、児童の負担をできるだけ軽減するように配慮されている。 ・単位時間の学習問題について、解決につながる文書には、本文の背面が色付けされるなど、児童が学びやすいようによく工夫されている。知識・技能や思考力・表現力・判断力が身に付きやすく、学びに向かう意識も高まる。 ・巻末には「SDGsの目標シール」が綴じ込まれており、それらを活用して授業を進めていくことで、社会について興味・関心が高まると共に今日的課題について考えられるように配慮されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの連続性が大切にされ、対話を通して学びを深めたり、豊富に位置付けられた二次元コードを使って自ら調べたりと、主体的に学びに向かう力が育成できるように工夫されている。 ・話し合いの場面を多く位置付けることで、対話を通して深い学びにつなげていくような工夫がなされ、岐阜地区の児童の実態に合った内容になっている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
社 会	地 図	2 東京書籍

調 査 項 目	意 見
1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるよ うになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学 ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・地図記号、地図の成り立ちや方位、縮尺、地図帳、地球儀の見方などの基本的な地図の読み方を、絵地図やイラストを用いて表現するなど、地図に関する基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図ることができるよう、配慮されている。 ・6年生で学ぶ歴史について、世界とのかかわりが分かる資料が掲載されるなど、学びが深められるようによく工夫されている。また、家庭科や理科に役立つ資料があり教科横断的に学習を進められる。 ・各ページには「当該地域にかかわる問い」が必ず位置付き、問いについて、地図帳を活用して調べることを促すことで、主体的に取り組むことができるように工夫されている。
2 岐阜県教育振 興基本計画(平成 31年3月策定)に 示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中部地方のページでは、海津市の上空から撮影された動画があったり、世界遺産の白川郷や飛騨山脈の写真が示されたりと、ふるさとへ愛着が育まれるように配慮がある。 ・二次元コードを読み取ると、地形の特色が理解できるように、ドローンで撮影された動画や白地図があり、児童の地図学習への興味・関心が高まるように工夫がある。 ・各種グラフや数値データや関連資料、地図を補う写真が充実しており、児童が必要な資料を選んで調査・考察することができるようによく工夫されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・4年間の使用に耐えられるよう厚めの紙を使用し、総ページ数も102ページと軽量化されている。光の反射を適度に抑えた用紙も使用しているので、見やすく書き込みやすい。 ・標高などは、海底4段階、陸地6段階で配色されており、メリハリのある色調で紙面構成がされていたり、ユニバーサルデザインの書体を使用したりする等、見やすくなるよう配慮されている。 ・日本地図のページには、掲載が途中で切れている地域について、どのページに続きの地図が示されているかが分かるようにしてあるなど、使いやすいように工夫されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的・基礎的な知識・技能が習得できるとともに、地図への興味・関心が高まるように工夫されている。 ・各種データや資料が充実し、地図帳に掲載されている地図、統計資料等を活用しながら、考えたり、表現したりする力が身に付くように配慮がされており、岐阜地区の児童の実態に合った内容となっている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
社 会	地 図	4 6 帝国書院

調 査 項 目	意 見
1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるよ うになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学 ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・地図の成り立ちや方位、地図記号、土地利用の様子を示した地図の使用 方法等、地図を活用していくための基礎的・基本的な知識・技能が 習得できるようよく工夫されている。 ・6年生の歴史学習でも活用できるように、歴史のテーマ地図を設けたり、 持続可能な社会の実現に向けた各地の課題や取組を地図と関わ らせて掲載したりするなど、教科横断的な活用ができるようによく 工夫されている。 ・「地図マスターへの道」コーナーを設置し、記号やイラストを探す活 動が位置付いていたり、位置や空間的な広がりに着目させる問いを 設け、見方・考え方を働かせながら地図帳を活用したりと、資質や能 力が育成されるように工夫がある。
2 岐阜県教育振 興基本計画(平成 31年3月策定)に 示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中部地方のページには「濃尾平野の輪中」に関する資料や、「江戸時 代の結びつき」のページには関ヶ原の戦いの鳥瞰図(二次元コードか ら読み取る)が掲載されており、郷土への理解がより深まるよう、工 夫されている。 ・50万分の1以上の広域地図には二次元バーコードが掲載され、タブ レット等で、各都道府県の地形図、土地利用図、市町村名、主題図(交 通網、農林水産業、おもな工業、伝統文化)などの関連資料が読み取 れるようによく工夫がされている。 ・地図以外に、自然、自然災害、産業、世界との結びつき、日本の歴史、 持続可能な開発目標、日本の世界遺産等の主題図が設けられ、必要な 資料を選んで調査・考察できるようによく工夫がしてある。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・4年間の使用に耐えられるよう、丈夫で手触りのよい用紙を使用し製 本されている。また、全ての頁において中央部分まで開けることができ、 地図のつながりや地名が正しく読めるように配慮されている。 ・明るい色で目に優しい色遣いがされており見やすく、写真も鮮明であ る。標高等は陸地4段階、海底4段階に色分けされ、高低差が立体的 で分かりやすい。また、UDフォントを取り入れ、見やすくなってい る。 ・索引では、地名を色分けしてあったり、活用方法が丁寧に説明されて いたり使いやすいように配慮されている。また、凡例にその県や地 方、地域の特徴的な事柄の説明が併記され、興味・関心が高まるよ うによく工夫されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての児童が地図に対して、興味・関心や資料活用能力を高められる ような構成になっていると共に、主体的な学びの力を伸ばすことが できるように工夫されている。 ・社会的な見方・考え方を働かせるような問いが設定され、地図を読み 取りながら、比較・関連して考察できるような工夫があるなど、根拠 を基に考える力が身に付くような構成になっており、岐阜地区の児 童の実態によく合った内容となっている。

様式 2

教科	種目	発行者
算数	算数	2 東京書籍

調査項目	意見書
<p>1 学習指導要領（平成 29 年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的に問題を解決していく過程を可視化したページ「今日の深い学び」があり、数学的活動を通して考える力が高められるようによく工夫されている。学年が上がるにつれ、吹き出しや補助発問を段階的に減らし、それまでに身に付けた資質・能力を発揮して考えることができる構成となっている。 ・単元の導入では、児童にとって身近な事象（日常生活や経験、親近感がわく）との関連が重視されたイラストや写真、オープニングムービーがあり、児童が問題解決の必然性を感じ、十分に主体的な学びを進められるようになっている。 ・多様な解決方法を比較検討して問題解決を図る場面では、それぞれの考え方について図や式、言葉を関連付けて示し、見方・考え方を働かせて学びを深める学習ができるようによく工夫されている。 ・1年生では図を用いた演算決定がなされており、テープ図、数直線図へと抽象化が図られ、児童に抵抗感がないように適切に構成されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成 31 年 3 月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生以上に単元の学習と関連させた特設ページ「プログラミングを体験しよう！」が設定されている。算数科の学習に関連付けながら、アンプラグドでプログラミング的に施行する体験ができるように工夫されている。 ・問題解決の場で何度でも試行錯誤できるシミュレーションが設けてあったり、練習や評価の場で、つまずきへ対応してヒントをもらえたりするQRコードが準備されていたりと、QR コンテンツが充実している。 ・「いかしてみよう」では、身の回りにおけるいろいろな数に興味をもてるようになっている。また、1年生「かたちづくり」の学習においては、より発展的に、身近である折り紙を使っての形づくりの学習ができるように適切に配置されている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の分冊は、入門期にはA4判で書き込みがしやすく、ブロックが置きやすい適切な仕様になっている。 ・全面がUDフォントになっており、すべての児童に適切に読みやすくなっている。また、余白が多めで見やすく、色数が少ないため、落ち着いた読むことができる。ページ数が少ないため軽量である。 ・巻頭には、「学びのとびら」があり、学習の進め方や自分の学びを記録していくノート作り方を配置し、主体的な学びへの意欲を引き出す工夫がされている。 ・巻末には、「ふりかえりコーナー」として、下学年までに学習した各単元の大切な考え方や各学年に必要な半具体物や図などがまとめられており、児童が既習内容を容易に想起できるようによく工夫されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的に問題を解決していく過程や多様な解決方法の比較検討しながら問題解決を図ることを大切にしており、数学的な見方・考え方の育成をねらいとして構成されている。 ・児童の学ぶ意欲を引き出す問題を取り入れたり、単元の導入にICTを活用して動画を設けたりと、問題解決の必然性を感じ、主体的に学習を進めていくことができる工夫がある。 ・問題解決の場で何度でも試行錯誤できるシミュレーションが設けてあったり、練習や評価の場でつまずきに対応したQRコードが準備されていたりと、QR コンテンツが充実している。

様式 2

教科
算数

種目
算数

発行者
4 大日本図書

調査項目	意見書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の前には、関連する単元の復習問題が掲載されていたり、単元末や巻末には多くの練習問題が掲載されていたりしており、児童が知識や技能を身に付けられるようによく配慮されている。 ・思考力・判断力・表現力等を伸ばすために、1つの問題に対して多様な解決方法が提示してあり、数量と式、図を関連付けて説明する活動が位置付けられている。 ・「じっくり深く学び合う」ページでは、身に付けた見方・考え方を生かして学習を進められるように構成されており、自分の考えを説明したり、他者の考えと比較したりする活動が位置付けられている。 ・1年生から図を用いた演算決定がなされており、2年生からテープ図、線分図、4年生から数直線へと抽象化が図られている。 ・児童が深く学んでいくために、「さんすうたまてばこ」や「よみとるちからをのぼそう」というコーナーには、児童が興味をもちやすい素材をテーマにした問題や生活の場面に生かす内容が掲載されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年にプログラミング教育の内容が位置付けられ、アンブラグドプログラミングの教材と、ビジュアルプログラミングの教材の両方が適切に掲載されており、学習しやすい内容となっている。 ・デジタルコンテンツが豊富に掲載されており、児童が学びを深めていくことができる内容となっている。 ・単元末や巻末には補充問題と発展問題が掲載されており、繰り返し学習したり、発展的な内容に挑戦したりすることができる内容となっている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生のみ分冊となっている。1年生の最初に使用する教科書は、A4判になっており、ブロックやおはじき等が置きやすいようによく配慮されている。2年生以上は合冊となり、年間を通して扱いやすい。 ・本文や吹き出しなど、全面的にユニバーサルデザインフォントが使用されている。書体や字の大きさについても国語科の学習とよく整合性がとれている。 ・巻末には、各学年で必要な半具体物や図などが付いている。また、児童の学びを支えるため「算数の大切な考え方」や数直線図のかき方などが掲載されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方やノートの使い方などの学び方についての内容が掲載されており、児童が算数をどのように学ぶとよいかを指導ができるように工夫されている。 ・復習問題や補充問題などの補充的な内容から、「さんすうたまてばこ」のような発展的や探究的な内容まで掲載されており、児童が主体的に学ぶことができるようになっている。 ・身に付けた見方や考え方を生かしながら思考し、表現していく学習を進めていける構成となっており、数学的な資質・能力の育成に効果的な工夫がされている。

様式 2

教科
算数

種目
算数

発行者
11 学校図書

調査項目	意見書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入場面では、「はてなを発見」が位置付けられ、単元で学習する内容と既習内容とが関連付けられる漫画が示されており、児童が主体的に学ぶことができる工夫がなされている。 ・考える場面では、複数の考え方が提示されており、見方・考え方が広がる。また、「考え方モンスター」というキャラクターによって、考え方の手助けがなされていて、様々な見方・考え方ができるように工夫されている。 ・単元末では、「できるようになったこと」の他に、「学びを生かそう」や、「考え方モンスターで振り返ろう」という構成になっており、既習内容が習熟できるように工夫されている。 ・演算決定の場面では、低学年は図を用いたもの、中学年はテープ図や数直線、高学年は数直線を使って考えるなど、発達段階に応じて、抽象化が図られ、児童に抵抗感がないように構成されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年にプログラミング学習が位置付けられており、筋道立てて考えることや、プログラミング的思考が身に付けられるようになっている。 ・特に1, 3年生では、切り取って使える付録が用意されており、机上で試行錯誤を繰り返しながら、プログラミング的思考を十分にはぐくむことができるようになっている。 ・二次元コードが多数用意されており、教科書と合わせて活用できるようになっている。単元の導入の「はてなを発見」では、教科書の漫画形式のものが、1コマずつ表示され、思考を整理しながら導入できるよう工夫されている。単元の途中には、筆算の仕方を順を追って表示したり、練習問題の答え合わせに利用したりすることができ、個別に繰り返し学習が進められるようになっている。 ・巻末には「ほじゅうのもんだい」が用意されており、問題のレベルごとに記号であらわされていることから、自分で選択しながら問題に取り組むことができるようになっている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判の紙面を採用しており、紙面にゆとりがあり、見やすくなっている。 ・全体的にUDフォントを使用されており、すべての児童に読みやすい紙面になっている。 ・やわらかい色合いを採用しており、必要以上にイラストや色を使うことがなく見やすくなっている。 ・「その学年で学習した見方・考え方」としてまとめてあり、次の学年への架け橋となっている。 ・6年生のみ合冊であり、1～5年生は上下巻構成になっている。また、6年生は別冊「中学校への架け橋」があり、中学校での学習がスムーズに行えるように工夫されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本単元、補充問題という構成となっている。また、日常とつなげる内容をコラムとして取り入れているため、数学的な見方・考え方を身に付け、活用していけるようになっている。 ・教科書と合わせて活用できる二次元コードが多数用意されているなど、個に応じた学習を支えるICTコンテンツが充実している。

様式 2

教科
算数

種目
算数

発行者
17 教育出版

調査項目	意見書
<p>1 学習指導要領（平成 29 年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何が出来るようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識及び技能」の育成に関わって、毎時間の「知識・技能」のまとめをデジタルコンテンツで視覚的に捉え、理解を深めることができる。また、単元末には、振り返りから、学びを確かめる順序で練習問題があり、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図ることができる。 ・導入場面では、「つながるミカタ」が位置付いて、その単元で学ぶときに必要な見方・考え方が、吹き出しを使って分かりやすく説明されている。また、「はてな」（課題）から「なるほど」（まとめ）、「だったら」（次時につながる疑問など）が示されていて、見方・考え方を働かせながら課題を解決していく構成がよく工夫されている。 ・各学年の単元末や 6 年生の巻末には「4 コマ」漫画が印象的であり、学んだことよさや見方・考え方が記憶に残る。よって、学年が進んでも、大切な見方・考え方を生かすことができる。 ・2 年生以上の巻頭にある「みんなで算数をはじめよう」では、問題解決型の学習の流れが示してあり、学習の展開や、その活動の中で児童がどのような視点で考えればよいかが示されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成 31 年 3 月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年において、プログラミング教材や表計算ソフトを用いた活動を取り入れ、プログラミング的思考や情報活用能力が育成されるようよく工夫されている。 ・表計算ソフトが発達段階に応じて適切に扱われている。（3 年、6 年） ・巻末では、日常の中から算数を見つけたり、算数を使って日常の問題を解決したりする「算数を使って考えよう」があり、算数で学習したことを総合的に活用する問題が大変充実している。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・UD フォントを採用していて、弱視やディスクシアの指標にも配慮している。 ・文意をつかみやすいように改行したり、余白を多めにしたりするなどの配慮がみられる。 ・「学びの手引き」として、ものさしやコンパスの使い方や線分図のかき方などが十分に説明してある。また、QR コードを読み取ることにより、解説を視聴することができる。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題発見力、問題解決力、問題追究力に焦点を当てた学びができるように構成されている。 ・各単元や練習問題で基礎的・基本的な力を定着し、発展問題、単元末「学んだこと使おう」において、学習したことを総合的に活用する力を育成していけるように構成されている。 ・プログラミング教材や表計算ソフトを用いた活動を取り入れたたり、「学びの手引き」として、QR コードを読み取り解説を視聴したりすることができなど、ICT を活用した学習活動が充実している。

様式 2

教科
算数

種目
算数

発行者
61 啓林館

調査項目	意見書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <p>・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能の育成に関わって、単元末には「学びのまとめ」の中で、「たしかめよう」（練習問題）→ふりかえろう→やってみようという構成になっており、学びを確かめるだけでなく、学びを生かすところまで取り組むことができよく工夫されている。 ・思考力・判断力・表現力等の育成に関わって、単元の導入に必要な既習の見方や考え方が1ページで端的にまとめられている。また、単元目標が位置付いていて、単元で学ぶ内容が焦点化されている。 ・学びに向かう力、人間性等の涵養に関わって、全ての単元にレディネスチェック（デジタルコンテンツ）やこの単元とつながる考え方が導入で書かれていて、個に応じて振り返りができるようになっている。また、児童から「めあて」を引き出す授業展開ができるように、「めあて」につながる児童の問いや気付きが「めばえ」として表記されている。 ・個に応じた学習に関して、単位時間ごとに解くためのヒントや一般的に誤答が多い問題には「よくあるまちがい」として、デジタルコンテンツで確認することができる。 ・テープ図、数直線を活用した乗除の演算指導に関わって、演算決定の際に2年生では、テープ図、3年生ではテープ図と数直線へと段階的に抽象化が図られている。 ・深い学びにつなげるための指導に関わって、巻頭の「算数の学び方」では、問題解決型の学習の流れが示されており、児童が主体的に学び、他者との対話を通して学びを深める過程が示されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング教育に関わって、全学年に「わくわくプログラミング」の単元を設け、楽しみながらプログラミングを体験し、将来に役立つプログラミング的思考力、論理的思考力が身に付くように配慮されている。 ・補充問題に関わって、「じゅんぴ」というページが巻末に用意されていて、単元で学習したことを復習できる確認問題のページが準備されている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生のスタートブックは、書き込みやすい仕様になっていて、大変使いやすい。 ・5年生・6年生では、年間一冊にまとめられていて既習事項を振り返りながら、学びを進めることができる。 ・障がいその他の特性の有無に関わらず、全ての児童にとって読みやすくするために、UDフォントになっている。 ・余白が多めで、見やすい。 ・文章の改行を全て文節で区切っていて、読みやすい。 ・各学年の巻末では、「学びをつなげよう」として、その学年までに学んだ知識や考え方が書かれている。 ・各学年に必要な半具体物や図などがまとめられている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学ぶ力が身に付くような単元構成、授業展開の工夫がされている。 ・既習事項をもとにして「数学的な見方・考え方」が整理されており、解決の見通しを立てたり、解決の方法を考えたりすることができるようになっている。 ・基礎的・基本的な内容の知識・技能が習得できるように、つまずきに対してはQRコンテンツを付けて、自学が進めやすく、確かな理解につながる工夫がある。

様式 2

教 科
算 数

種 目
算 数

発行者
116 日本文教出版

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・「算数の学び方」では、問題解決型の学習の流れが示され、児童が主体的に対話を通して学びを深める過程がよく工夫されている。 ・単元の初めに「次の学習のために」が位置付けられ、その単元で必要となる内容について十分に復習や学び直しができるようになっている。（学年と単元名も明記されている）また、単元内の「使ってみよう」では、教室内外で数学的活動に取り組むことができ、習得した知識や技能を生活や学習に活用できるようによく工夫されている。 ・「自分でみんなで」では、児童が様々な表現方法を知った上で、自分の考えを表現できるように展開されている。吹き出しや紙面のサイドに示してある学びの視点が適切であり、児童が見通しや考えをもちやすく深い学びにつながるようによく工夫されている。 ・複数の考え方をもとに学習を進める場面では、協働的に問題を解決する活動が位置付けられ、思考力・判断力・表現力の育成につながる適切な構成となっている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年の下巻巻末にプログラミング的思考を扱う「レッツプログラミング」のページが設けられ、アプリを使用しなくても言葉でプログラミングができるようになっている。また、学習の助けとなるデジタルコンテンツも用意されている。 ・巻末に「算数マイトライ」が設定され、個人の学習状況に応じた基本から発展までの補充問題が適切に構成されている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第5・6学年が1冊ずつ合冊となっている。 ・巻末では「〇年までに学習したこと」として、その学年までに学習した内容が位置付き、学習の振り返りができるように工夫されている。また、第4学年から、思考の手助けとなるテープ図から数直線図のかき方が丁寧にまとめられている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的思考が身に付く内容となっており、問題解決的な学習の過程と具体的な着眼点を示し、協働的な学習が充実するよう構成されている。 ・既習の確認・本単元・補充問題で構成され、基礎的・基本的な知識技能だけでなく、学習の根底となる考え方を身に付けることができるよう構成されている。